

和歌山県における農業集落の 現況と地域的特徴

— 2010年センサス「農業集落調査」結果分析を中心に —

大西 敏夫

和歌山大学経済研究所

2017年

目 次

はじめに.....	1
I. 和歌山県農業の特色と地域的特徴	1
1. 和歌山県農業の特色.....	1
2. 和歌山県内の地域指定状況.....	2
II. 農業集落の立地条件と地域指定状況	4
1. 農業集落の立地条件.....	4
2. 農業集落の地域指定状況.....	6
III. 農業集落の概況と特徴.....	7
1. 農家数と農家率の状況	7
2. 耕地面積規模別および水田率別農業集落数と実行組合有無別集落数の状況.....	9
3. 寄り合いの開催状況と開催内容	11
4. 地域資源の保全状況.....	12
5. その他集落農業（地域農業）にかかわる諸特徴.....	15
IV. 市町村別特徴と集落活動	17
1. 農業集落の特徴.....	17
2. 集落活動の特徴.....	22
V. まとめ	27

はじめに

本研究は、2010 年世界農林業センサス「農山村地域調査（農業集落調査）」結果⁽¹⁾の整理・分析・検討を通じて、和歌山県における農業集落の現況と地域的特徴を明らかにすること、併せて、それぞれの地域の諸課題を抽出することにある。

農業集落とは、農業上形成されている地域社会のことである。農業集落とは、もともと自然発生的な地域社会であって、家と家とが地縁的、血縁的に結びつき、各種の集団や社会関係を形成してきた社会生活の基礎的単位である。2010 年世界農林業センサス結果によれば、農業集落数は和歌山県が 1,597 集落、近畿府県（6 府県計）が 1 万 807 集落、全国が 13 万 9,176 集落である。

「農業集落調査」結果では、悉皆調査により集落の規模（総戸数・農家数・経営耕地面積など）、立地条件、地域資源（農地・ため池・用水路）の有無と保全状況、集落活動（寄合いなど）の有無、主業農家の有無などが把握されている。本研究では、これらの状況について言及することにしたい。

ところで、本県は「果樹王国」と称され、さらに野菜や花きを加えて園芸農業が盛んである。一方、中山間地も多く抱えていることから、本県農業の特色は、収益性の高い園芸地帯と中山間農業地帯に大別することができる。

本研究では、これらの特色にも留意しながら、2010 年現在の市町村レベルの農業集落についてその現況と特徴を明らかにしながら、それぞれの農業集落が抱える諸問題についても検討することにしたい。

以上により、本研究で得られた知見は、農業集落レベルとはいえ、地域課題を一定程度明らかにするものであり、今後の「地方創生」（集落再生・地域活性化）およびその方向性を検討するうえで、基礎的資料を提供するものとする。

I. 和歌山県農業の特色と地域的特徴

1. 和歌山県農業の特色

前述のとおり、和歌山県は「果樹王国」といわれている⁽²⁾。たとえば、2014 年農業産出額の部門別構成を本県と全国および近畿と比較すると、本県の果実部門の構成比は 61.0%であり、近畿（17.6%）や全国（8.9%）に比べて突出していることがわかる⁽³⁾。また、本県の果実部門の産出額は 581 億円であり、その全国順位は都道府県のなかで第 2 位である。このように、本県農業の特色は、果実生産に特化していること、それに野菜（16.3%）と花き（5.7%）を加えると農業産出額全体の 83%を占めているように、園芸農業が主流で

あることが明らかである。

次に、本県における基幹農作物（2014年産出額：13作物）の全国シェアと全国順位をみることにしよう。それによると、都道府県のなかで全国第1位の品目は、ウメ（全国シェア：60.0%）、カキ（同：19.6%）、スターチス（同：40.0%）、次いで全国第2位にミカン（同：16.6%）、エンドウ（同：13.7%）、スモモ（同：13.0%）、同第3位にキウイフルーツ（同：12.3%）、シシトウ（同：4.8%）、モモ（同：9.5%）、イチジク（同：10.0%）、同第5位にガーベラ（同：6.7%）となる。このように、果実品目を中心に、野菜や花きなどが全国トップレベルまたは上位に位置している。

2010年農業センサスによれば、本県では販売のあった農業経営体（23,106経営体）のなかで、果樹類の単一経営が12,642経営体（54.7%）、同準単一複合経営が1,257経営体（5.4%）と両方で実に6割を占めるなど果樹経営農家が多く存在している⁽⁴⁾。また、販売目的の果樹類の品目別栽培経営体数をみると、温州ミカンが9,255経営体（40.1%）、その他のカンキツ類が5,385経営体（23.3%）、ウメが6,441経営体（27.9%）、カキが4,023経営体（17.4%）、モモが1,603経営体（6.9%）などとなっている。このように、果樹作物を主力とする経営体割合の高さが注目される。

このように、本県農業の特色は果樹作物を中心に野菜・花きなどの園芸農業を主体にしているといえる。一方、本県は森林率（76.8%）が全国第7位と全国平均（67.3%）よりも10ポイント近く高いことなどから、中山間地域も多く抱えていることが想定される。

2. 和歌山県内の地域指定状況

農林業センサスによる農山村地域調査（農業集落調査）では、法制上の地域指定により、農業集落が分類・類型化されている。その法制上の地域指定とは、すなわち都市と農山漁村との健全な調和を図りつつ、適正な制限のもとに土地の合理的な利用を図ることによって、国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進のために法律に基づいて行う地域指定のことである⁽⁵⁾。

農山村地域調査で取りあげられている地域は、「都市計画地域」（都市計画法第5条）、「農業振興地域」（農業振興地域の整備に関する法律第6条第1項）、「振興山村地域」（山村振興法第7条第1項）、「過疎地域」（過疎地域自立促進特別措置法第2条第1項）、「豪雪地帯」（豪雪地帯対策特別措置法第2条第1項）、「離島振興対策実施地域」（離島振興法第2条第1項）、「特定農山村地域」（特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律第2条第1項）、「半島振興対策地域」（半島振興法第2条第1項）、「特認地域」などである。なお、最後の「特認地域」とは、地域振興立法8法（特定農山村法、山村振興法、過疎地域自立促進特別措置法、半島振興法、離島振興法、沖縄振興特別措置法、奄美群島振興開発特別措置法及び小笠原諸島振興開発特別措置法）の指定地域以外で、中山間地域等直接支払制度⁽⁶⁾により、地域の実態に応じて都道府県知事が指定する、いわゆる生産条件の不利な地域とされている。

上記の地域指定のなかで、「振興山村地域」、「過疎地域」、「特定農山村地域」、「半島地域」について本県市町村における指定状況（2016年4月1日現在）をみると、図1に示されたとおりである。それによると、「振興山村地域」は17市町村、「過疎地域」は18市町村（白浜町は一部指定）、「特定農山村地域」は25市町村（海南市，御坊市，白浜町は一部指定）、「半島地域」は29市町村となっている。このように，本県は多くの市町村で山村振興法，過疎地域自立促進特別措置法，特定農山村法，半島振興法などの地域指定を受けているといえる。



図1 和歌山県内市町村の地域指定状況

資料：和歌山県農林水産部『和歌山県の農林水産業』2016年より。

Ⅱ. 農業集落の立地条件と地域指定状況

1. 農業集落の立地条件

表1は、農業集落の立地条件について農業地域類型別にみたものである。それによると、和歌山県は、「都市的地域」が334集落（20.9%）、「平地農業地域」が259集落（16.2%）、「中間農業地域」が476集落（29.8%）、「山間農業地域」が528集落（33.1%）である。「中間農業地域」と「山間農業地域」を合計した、いわゆる中山間地域が62.9%と全体の3分の2弱を占めている。全国および近畿府県の構成比と比較すると、本県は「山間農業地域」の割合が高く、「都市的農業地域」の割合が低い傾向にあり、またいわゆる中山間地域は、全国が51.9%、近畿府県が54.4%であり、本県の場合は割合が10ポイント前後高い。さらに、本県の「平地農業地域」の構成比（16.2%）は近畿府県（15.9%）と同程度ではあるが、全国（26.0%）と比べると割合が10ポイント程度低いといえる。

次に、D I Dまでの所要時間別農業集落数をみると、本県は「15分未満」が280集落（17.5%）、「10～30分」が525集落（32.9%）、「30分～1時間」が625集落（39.1%）、「1時間～1時間半」が146集落（9.1%）、「1時間半以上」が21集落（1.3%）となっている（表2参照）。全国および近畿府県の構成比と比較すると、本県は「15分未満」および「10～30分」で割合が低く、他方「30分～1時間」および「1時間～1時間半」で割合が高い傾向にある。このように、本県はD I Dまでの所要時間別集落数では、総じて所要時間が多くかかる集落の割合は高めであるといえる。

表3は、都市計画制度と農業振興地域制度の該当農業集落数をみたものである。それによると、本県の場合、「都市計画区域」の「線引きあり」のうち、「市街化区域」該当集落は69集落（4.3%）、「市街化調整区域」該当集落は163集落（10.2%）である。また、「都市計画区域」の「線引きなし」該当集落は616集落（38.6%）である。これに対し、「農業振興地域」該当集落は1,402集落（87.8%）、そのうち「農用地区域」該当集落は1,177集落（73.7%）である。さらに、「都市計画区域と農業振興地域の両方」該当集落は643集落（40.3%）である。全国および近畿府県の構成比と比較すると、本県は「都市計画区域」の「線引きあり」の「市街化区域」該当集落の割合ならびに「市街化調整区域」該当集落の割合が低いうえ、かつ「都市計画区域と農業振興地域の両方」該当集落の割合も低い傾向にある。

以上のように、本県農業集落の立地条件は、「中間農業地域」や「山間農業地域」に立地する集落が多いこと、D I Dまでの所要時間では多くかかる集落が多いこと、さらに都市計画制度に該当する集落は少ないことなどから、農業生産条件の不利な中山間地域に立地するいわゆる“農山村”集落が総じて多いという特色を有しているといえる。

表1 農業集落の立地条件(農業地域類型)

		単位：集落，％				
		計	都市的 地域	平地農業 地域	中間農業 地域	山間農業 地域
実 数	和歌山県	1,597	334	259	476	528
	近畿府県	10,807	3,220	1,714	3,360	2,513
	全 国	139,176	30,761	36,246	45,894	26,275
構 成 比	和歌山県	100.0	20.9	16.2	29.8	33.1
	近畿府県	100.0	29.8	15.9	31.1	23.3
	全 国	100.0	22.1	26.0	33.0	18.9

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス第7巻 農山村地域調査報告書」，2012年より作成。

注：1）農業地域類型による各地域の基準指標は以下のとおり。

- ① 都市的地域：可住地に占めるD I D面積が5％以上で，人口密度500人以上又はD I D人口2万人以上の旧市区町村又は市町村。可住地に占める宅地等率が60％以上で，人口密度500人以上の旧市区町村又は市町村。ただし，林野率80％以上のものは除く。
 - ② 平地農業地域：耕地率20％以上かつ林野率50％未満の旧市区町村又は市町村。ただし，傾斜20分の1以上の田と傾斜8度以上の畑の合計面積の割合が90％以上のものを除く。耕地率20％以上かつ林野率50％以上で，傾斜20分の1以上の田と傾斜8度以上の畑の合計面積の割合が10％未満の旧市区町村又は市町村。
 - ③ 中間農業地域：耕地率20％未満で，「都市的地域」及び「山間農業地域」以外の旧市区町村又は市町村。耕地率20％以上で，「都市的地域」及び「平地農業地域」以外の旧市区町村又は市町村。
 - ④ 山間農業地域：林野率80％以上かつ耕地率10％未満の旧市区町村又は市町村。
- 2）D I D（人口集中地区）とは2005年国勢調査において，人口密度約4,000人/㎢以上の国勢調査基本単位区がいくつか隣接し，合わせて人口5,000人以上を有する地域をいう。

表2 DIDまでの所要時間別農業集落数

		単位：集落，％					
		計	15分未満	10～30	30～ 1時間	1時間～ 1時間半	1時間半 以上
実 数	和歌山県	1,597	280	525	625	146	21
	近畿府県	10,807	3,420	4,176	2,670	457	84
	全 国	139,176	38,353	55,594	35,249	7,360	2,620
構 成 比	和歌山県	100.0	17.5	32.9	39.1	9.1	1.3
	近畿府県	100.0	31.6	38.6	24.7	4.2	0.8
	全 国	100.0	27.6	39.9	25.3	5.3	1.9

資料：表1と同じ。

注：D I Dまでの所要時間は，当該農業集落の居住者が普段利用している交通手段（自動車，バス，電車等）によることとし，その起点は，当該農業集落のランドマークとし，終点は，D I Dの中心地としている。

表3 都市計画制度と農業振興地域制度の該当農業集落数

単位：集落，％

		実農業 集落数	都市計画区域			農業振興 地域		都市計画 区域と農 業振興地 域の両方
			線引きあり		線引き なし			
			市街化 区域	市街化 調整区域			農用地 区域	
実 数	和歌山県	1,597	69	163	616	1,402	1,177	643
	近畿府県	10,800	2,405	5,015	2,845	9,327	8,345	6,716
	全 国	138,990	16,584	35,632	44,441	128,197	114,072	71,347
構 成 比	和歌山県	100.0	4.3	10.2	38.6	87.8	73.7	40.3
	近畿府県	100.0	22.3	46.4	26.3	86.4	77.3	62.2
	全 国	100.0	11.9	25.6	32.0	92.2	82.1	51.3

資料：表1と同じ。

注：いずれの指定もない集落数は、全国186集落、近畿府県7集落である。なお、「都市計画区域」の「市街化調整区域」，「線引きなし」と「農業振興地域」は重複している場合がある。

2. 農業集落の地域指定状況

次に、農業集落の地域指定状況についてみていくことにしよう。

表4は、地域指定に該当している農業集落数をみたものである。それによると、本県は、「振興山村地域」が525集落（32.9%）、「特定農山村地域」が1,252集落（78.4%）、「過疎地域」が728集落（45.6%）、「半島振興対策実施地域」が1,434集落（89.8%）、「特認地域」が8集落（0.5%）となっている。本県には「豪雪地帯」と「離島振興対策実施地域」に該当する集落はない。本県の立地状況から鑑みて「半島振興対策実施地域」が約9割を占めていることが特徴的である。全国および近畿府県の構成比と比較すると、「半島振興対策実施地域」を含め、「振興山村地域」，「特定農山村地域」，「過疎地域」で本県の割合が高いことが伺い知れる。

表5は、農業集落の地域指定について「振興山村地域」，「過疎地域」，「特定農山村地域」に該当する集落状況（重複指定含む）の側面からみたものである。それによると、本県はいずれかの指定がある集落は1,273集落（79.7%）であり、全国および近畿府県の構成比に比べ30ポイント程度高い。そのなかで本県は、「過疎地域のみ」が21集落（1.3%）、「特定農山村地域のみ」が490集落（30.7%）、「山村・特定農山村重複」が55集落（3.4%）、「過疎・特定農山村重複」が237集落（14.8%）、「山村・過疎・特定農山村重複」が470集落（29.4%）となっており、「振興山村地域のみ」と「山村・過疎重複」に該当する集落はない。全国および近畿府県の構成比と比較すると、本県の場合は「特定農山村地域のみ」および「山村・過疎・特定農山村重複」でウエイトが高い傾向にあるといえる。

このように、地域指定に該当している農業集落数では、全国および近畿府県に比べて本県は「半島振興対策実施地域」をはじめ、「振興山村地域」，「特定農山村地域」，「過疎地域」などの割合が高いとともに、農業集落の地域指定状況では「特定農山村地域のみ」および「山村・過疎・特定農山村重複」該当集落の割合が高い傾向が読み取れる。

表4 地域指定に該当している農業集落数

単位：集落，％

		実農業 集落数	振興山村 地域	豪雪地帯	特別豪雪 地帯	離島振興 対策実施 地域	特定 農山村 地域	過疎地域	半島振興 対策実施 地域	特認地域
実 数	和歌山県	1,597	525	－	－	－	1,252	728	1,434	8
	近畿府県	10,800	2,314	2,050	19	26	4,814	2,499	2,142	421
	全 国	138,990	28,773	40,332	11,353	2,111	54,486	50,783	14,841	13,096
構 成 比	和歌山県	100.0	32.9	－	－	－	78.4	45.6	89.8	0.5
	近畿府県	100.0	21.4	19.0	0.2	0.2	44.6	23.1	19.8	3.9
	全 国	100.0	20.7	29.0	8.2	1.5	39.2	36.5	10.7	9.4

資料：表1と同じ。

注：いずれの指定もない集落数は、全国186集落、近畿府県7集落である。なお、地域指定については重複している場合がある。

表5 農業集落の地域指定状況(山村・過疎・特定農山村地域別農業集落数)

単位：集落，％

		合計	計	振興山村 地域のみ	過疎地域 のみ	特定農山村 地域のみ	山村・過疎 重複	山村・特定 農山村重複	過疎・特定 農山村重複	山村・過疎・ 特定農山村 重複	いずれの 指定もない 農業集落
実 数	和歌山県	1,597	1,273	－	21	490	－	55	237	470	324
	近畿府県	10,807	5,215	23	372	1,880	6	813	649	1,472	5,592
	全 国	139,176	71,879	1,029	15,694	13,277	670	6,790	14,135	20,284	67,297
構 成 比	和歌山県	100.0	79.7	－	1.3	30.7	－	3.4	14.8	29.4	20.3
	近畿府県	100.0	48.3	0.2	3.4	17.4	0.1	7.5	6.0	13.6	51.7
	全 国	100.0	51.6	0.7	11.3	9.5	0.5	4.9	10.2	14.6	48.4

資料：表1と同じ。

注：いずれの指定もない集落数は、全国186集落、近畿府県7集落である。

Ⅲ. 農業集落の概況と特徴

１．農家数と農家率の状況

表6は、農家数規模別農業集落数をみたものである。それによると、本県は、「10～19戸」が434集落（27.2％）と最も多く、次いで「5戸以下」が339集落（21.2％），「30～49戸」が257集落（16.1％），「20～29戸」が238集落（14.9％），「6～9戸」が200集落（12.5％）と続く。農家数9戸以下の集落が全体の33.7％と約3割余りを占めている。このほかでは、「50～99戸」が121集落（7.6％），「100～149戸」が6集落（0.4％），「150戸以上」が2集落（0.1％）となっている。全国および近畿府県の構成比と比較すると、本県は「5戸以下」で割合はやや高く，「10～19戸」，「20～29戸」で割合はやや低い傾向がみられる。

また、表7から1農業集落当たり平均戸数をみると、本県は総戸数が187戸，そのうち農家数が21戸，非農家数が166戸であり，農家率（農家数／総戸数）でみると11.1％であ

る。全国および近畿府県と比較すると、総戸数、農家数、非農家数ともに全国とほぼ同程度の状況にあるなかで、農家率は近畿府県および全国に比べて高いといえる。

表8は、農家率別農業集落数をみたものである。それによると、本県は、「10%未満」が486集落（30.4%）と最も多く、次いで「10～30%未満」が466集落（29.2%）、「30～50%未満」が322集落（20.2%）となっている。このほかでは、「50～70%未満」が218集落（13.6%）、「70～90%未満」が93集落（5.8%）、「90%以上」が12集落（0.8%）である。このように、本県の場合は農家率30%未満（59.6%）の集落が約6割、50%未満（79.8%）の集落でみると約8割を占めている。全国および近畿府県の構成比と比較すると、本県は「10%未満」、「10～30%未満」で割合はやや高い一方で、「30～50%未満」を境にして、「50～70%未満」および「70～90%未満」で割合は低い傾向が読み取れる。

以上のように、本県は、農家数規模別農業集落数で「20～29戸」以下の集落が75.8%と約4分の3を占めていること、1集落平均では総戸数が200戸弱で農家数が20戸程度、さらに農家率では10%余りである。そして、農家率50%未満の集落が8割弱を占めている。このようなことから、本県は総じて農家数規模が小さいうえ、農家率も50%未満が多くを占めていることが特徴的といえる。

表6 農家数規模別農業集落数

		単位：集落，％								
		計	5戸以下	6～9	10～19	20～29	30～49	50～99	100～149	150戸以上
実数	和歌山県	1,597	339	200	434	238	257	121	6	2
	近畿府県	10,807	3,073	1,233	3,127	2,198	2,001	738	44	5
	全 国	139,176	28,174	21,328	43,958	23,287	16,002	5,826	504	97
構成比	和歌山県	100.0	21.2	12.5	27.2	14.9	16.1	7.6	0.4	0.1
	近畿府県	100.0	13.5	11.4	28.9	20.3	18.5	6.8	0.4	0.0
	全 国	100.0	20.2	15.3	31.6	16.7	11.5	4.2	0.4	0.1

資料：表1と同じ。

表7 1農業集落当たり平均戸数

		単位：集落，戸，%			
		集落計	1農業集落当たり平均戸数		
			総戸数	農家数	非農家数
実数	和歌山県	1,597	187	21	166
	近畿府県	10,807	348	22	326
	全 国	139,176	198	18	180
構成比	和歌山県	・・・	100.0	11.1	88.9
	近畿府県	・・・	100.0	6.4	93.6
	全 国	・・・	100.0	8.9	91.1

資料：表1と同じ。

注：構成比は総戸数に対する比率である。

表8 農家率別農業集落数

		単位：集落，％						
		計	10％未満	10～30	30～50	50～70	70～90	90％以上
実数	和歌山県	1,597	486	466	322	218	93	12
	近畿府県	10,807	3,073	2,662	2,122	2,120	727	103
	全 国	139,176	36,691	33,900	31,720	27,133	11,286	3,228
構成比	和歌山県	100.0	30.4	29.2	20.2	13.6	5.8	0.8
	近畿府県	100.0	28.4	24.6	19.6	19.6	6.7	1.0
	全 国	100.0	26.4	24.3	20.9	18.0	8.1	2.3

資料：表1と同じ。

注：農家率とは，農業集落の総戸数に占める農家の割合をいう。

2. 耕地面積規模別および水田率別農業集落数と実行組合有無別集落数の状況

表9は，耕地面積規模別農業集落数をみたものである。それによると，耕地のある農業集落数は1,501戸（94.0％）であり，このうち「10ha未満」が563集落（35.3％）と最も多く，次いで「10～30ha未満」が525集落（32.9％）である。両者を合わせると全体の68.2％と約7割を占めている。また，「30～50ha未満」（216集落：13.5％）と「50～100ha未満」（158集落：9.9％）はそれぞれ1割程度の割合である。一方，「100～300ha未満」の比較的耕地面積規模の大きな集落は39集落（2.5％）と数％程度に過ぎず，300ha規模以上の農業集落はない。全国および近畿府県の構成比と比較すると，とくに本県の場合，「10ha未満」の割合が高い状況にある。

表10は，農業集落の概況として水田率別農業集落数をみたものである。それによると，本県は，「畑地集落（水田率30％未満）」が707集落（44.3％）と最も多く，次いで「田畑集落（水田率30～70％未満）」が485集落（30.4％），「水田集落（水田率70％以上）」が405集落（25.4％）となっている。全国および近畿府県の構成比と比較すると，本県の場合は「畑地集落（水田率30％未満）」の割合がきわめて高く，次いで「田畑集落」の割合も高いなかで，「水田集落」の割合は低いという傾向がみられる。このことは，すなわち本県が樹園地（畑地）を利用した果樹農業を主体にしていることを反映しているといえよう。

表11は，農業集落内での活動状況として実行組合のある農業集落数をみたものである。それによると，本県は，「実行組合がある」が622集落（38.9％）に対し，「実行組合がない」が975集落（61.1％）にのぼり，実行組合のない集落が全体の6割余りを占めている。全国および近畿府県の構成比と比較すると，本県の場合は「実行組合がある」集落の割合が30ポイントから40ポイント近く低い状況にある。

表9 耕地面積規模別農業集落数

単位：集落，％

		合計	耕地のある 農業集落計	10ha未満	10～30	30～50	50～100	100～300	300～500	500ha以上	耕地のない 農業集落計
実数	和歌山県	1,597	1,501	563	525	216	158	39	－	－	96
	近畿府県	10,807	10,544	3,328	4,760	1,560	761	133	2	－	263
	全 国	139,176	134,441	43,176	48,632	19,300	15,327	6,703	835	468	4,735
構成比	和歌山県	100.0	94.0	35.3	32.9	13.5	9.9	2.5	－	－	6.0
	近畿府県	100.0	97.6	30.8	44.1	14.4	7.1	1.2	0.0	－	2.4
	全 国	100.0	96.6	31.0	35.0	13.9	11.0	2.7	0.6	0.3	3.4

資料：表1と同じ。

表10 農業集落の概況(水田率別農業集落数)

単位：集落，％

		計	水田集落 (70%以上)	田畑集落 (30～70)	畑地集落 (30%未満)
実数	和歌山県	1,597	405	485	707
	近畿府県	10,807	7,548	1,802	1,457
	全 国	139,176	70,173	33,690	35,313
構成比	和歌山県	100.0	25.4	30.4	44.3
	近畿府県	100.0	69.9	16.7	13.5
	全 国	100.0	50.4	24.2	25.4

資料：表1と同じ。

注：（ ）内は水田率である。なお、水田集落は水田率が70%以上の集落、田畑集落は水田率が30%以上70%未満の集落、畑地集落は水田率が30%未満の集落をいう。

表11 農業集落内での活動状況(実行組合のある農業集落数)

単位：集落，％

		計	実行組合 がある	実行組合 がない
実数	和歌山県	1,597	622	975
	近畿府県	10,807	8,502	2,305
	全 国	139,176	101,389	37,787
構成比	和歌山県	100.0	38.9	61.1
	近畿府県	100.0	78.7	21.3
	全 国	100.0	72.8	27.2

資料：表1と同じ。

注：実行組合とは、農業生産活動における最も基礎的な農家集団である。具体的には、生産組合、農事実行組合、農家組合、農協支部など様々な名称で呼ばれているが、その名称にかかわらず、総合的な機能をもった農業生産者の集団をいう。

以上のように、本県は、耕地面積規模別農業集落数では30ha未満が約7割を占めていること、全国および近畿府県の構成比と比較すると、農業集落の概況では「畑地集落」と「田畑集落」が多い一方で、「水田集落」が少ないこと、さらに農業集落内での活動状況として「実行組合のある」農業集落数の割合が約4割と全国および近畿府県に比べて少ないことが特徴的といえる。このことは、本県は「畑地集落」が主流であり、集団で集落の共同活動（たとえば水田農業における水管理や農道管理など）を担う実行組合組織の設置が少ないことを背景にしていると推察される。

3. 寄り合いの開催状況と開催内容

表12から過去1年間に開催された寄り合いの回数別農業集落数をみよう。それによると、本県は、「寄り合いを開催した農業集落数計」は1,399集落で87.6%を占めている。そのなかで、開催回数をみると「1～2回」が255集落（16.0%）、「3～6回」が480集落（30.1%）、「7～10回」が272集落（17.0%）、「11～20回」が306集落（19.2%）、「21回以上」が86集落（5.4%）となっている。また、農業集落当たり寄り合い開催回数は平均7.5回である。以上のことを全国および近畿府県の構成比と比較すると、本県は「寄り合いを開催した農業集落数計」の割合が低く（「開催なし」農業集落の割合は高い）、開催回数では「3～6回」のウエイトが高いなかで、平均寄り合い開催回数も全国や近畿府県に比べて少ない傾向が読み取れる。

さらに、表13から寄り合いの議題別農業集落数をみると、寄り合いを開催した農業集落数計のなかで、本県は「農業集落行事の計画推進（祭り・イベント等）」が1,133集落（71.0%）、「環境美化・自然環境の保全」が1,056集落（66.1%）、「農道・農業用排水路・ため池の管理」が920集落（57.6%）というように半数以上がこのような議題に取り組んでいることがわかる。それに対して、「集落共有財産・共用施設の管理」が745集落（46.7%）、「農業集落内の福祉・厚生」が611集落（38.3%）、「農業生産にかかわる事項」が581集落（36.4%）である。全国および近畿府県の構成比と比較すると、本県では取り組み集落のウエイトが低いなかで、とりわけ「農業生産にかかわる事項」および「集落共有財産・共用施設の管理」を議題とした取り組み割合が低い傾向にあるといえる。

以上のように、本県は、全国および近畿府県に比べて寄り合いを開催した集落数計が少ないなかで、寄り合い開催回数も少ない。さらに、その寄り合いの主要議題は「農業集落行事の計画推進（祭り・イベント等）」、「環境美化・自然環境の保全」、「農道・農業用排水路・ため池の管理」などである。また、「農業生産にかかわる事項」および「集落共有財産・共用施設の管理」に対する取り組みは全国および近畿府県に比べて割合が低い傾向にある。

表12 農業集落内の活動状況(過去1年間に開催された寄り合いの回数別農業集落数)

単位：集落，％，回

		合計	寄り合いを 開催した 農業集落計	1～2回	3～6	7～10	11～20	21回以上	開催なし	農業集落あ たり寄り合い 開催回数
実数	和歌山県	1,597	1,399	255	480	272	306	86	198	7.5
	近畿府県	10,807	10,116	845	2,342	1,678	3,471	1,780	691	12.5
	全 国	139,176	128,754	13,924	36,970	23,937	38,918	15,005	10,422	10.5
構成比	和歌山県	100.0	87.6	16.0	30.1	17.0	19.2	5.4	14.2	－
	近畿府県	100.0	93.6	7.8	21.7	15.5	32.1	16.5	6.4	－
	全 国	100.0	92.5	26.4	24.3	20.9	18.0	10.8	8.1	－

資料：表1と同じ。

注：原則として、地域社会又は地域の農業生産に関わる事項について、農業集落の人たちが協議を行うために開く会合をいう。

また、農業集落の全世帯を対象とした会合あるいは農業集落内の全農家を対象とした会合は行われていないが、農業集落内の各班における代表者、役員が集まって行われている会合についても、地域社会又は地域の農業生産に関する事項について意思決定がなされているものであれば寄り合いとみなす。

表13 農業集落内の活動状況(寄り合いの議題別農業集落数)

単位：集落，％

		合計	寄り合いを 開催した 農業集落計	農業生産に かかわる 事項	農道・農業 用排水路 ・ため池の 管理	集落共有 財産・共用 施設の管理	環境美化・ 自然環境 の保全	農業集落 行事の計画 推進 (祭り・イベント等)	農業集落内 の福祉・厚生	寄り合いを 開催しな かった農業 集落計
実数	和歌山県	1,597	1,399	581	920	745	1,056	1,133	611	198
	近畿府県	10,807	10,116	7,359	8,173	6,990	8,007	8,143	5,191	691
	全 国	139,176	128,754	82,062	91,903	81,066	99,499	106,715	63,881	10,422
構成比	和歌山県	100.0	87.6	36.4	57.6	46.7	66.1	70.9	38.3	12.4
	近畿府県	100.0	93.6	68.1	75.6	64.7	74.1	75.3	48.0	6.4
	全 国	100.0	92.5	59.0	66.0	58.3	71.5	76.7	45.9	7.5

資料：表1と同じ。

注：寄り合いを開催した活動事項については、以下のとおりである。

「農業生産にかかわる事項」は、生産調整・転作、共同で行う防除や出荷、農作業の労働力調整等の農業生産に関する事項をいう。「農道・農業用排水路・ため池管理」は、農道、農業用排水路、ため池改修、草刈り、泥上げ、清掃等の農道、農業用排水路およびため池の維持・管理に関する事項をいう。「集落共有財産・共用施設の管理」は、農業集落における農業用機械、施設や共有林などの共有財産や、共用の生活関連施設の維持・管理に関する事項をいう。「環境美化・自然資源の保全」は、農業集落内の清掃、空き缶拾い、草刈り等の環境美化や自然資源等の保全等に関する事項をいう。「農業集落行事の計画・推進（祭り・イベント等）」は、寺社や仏閣における祭り（祭礼、大祭、例祭等）、運動会、各種イベント等の集落行事の計画・推進に関する事項をいう。「農業集落内の福祉・厚生」は、農業集落内の高齢者や子供会のサービス（介護活動、子供会など）やゴミ処理、リサイクル活動、共同で行う消毒などをいう。

4. 地域資源の保全状況

地域資源の保全状況について「農地」、「森林」、「ため池・湖沼」、「河川・水路」、「農業用排水路」ごとにみていくことにしよう。

表14は、地域資源の保全（「農地」）状況についてみたものである。それによると、本県は農地のある農業集落（1,501集落：94.0％）において農地を「保全している」集落は775集落（48.5％）、「保全していない」集落は726集落（45.5％）とほぼ半々となっている。全国および近畿府県の構成比に比べて本県は「保全している」集落の割合が高い傾向にある。

次に「森林」をみよう（表 15 参照）。本県は森林のある農業集落（1,368 集落：85.7%）において「保全している」集落は 176 集落（11.0%）に対し、「保全していない」集落は 1,192 集落（74.6%）と多い。全国および近畿府県の構成比に比べて本県の場合は「保全している」集落のウェイトがやや低い傾向にある。

「ため池・湖沼」では、ため池・湖沼のある農業集落（720 集落：45.1%）において「保全している」集落は 477 集落（29.9%），「保全していない」集落は 243 集落（15.2%）となっている（表 16 参照）。「保全している」集落割合を全国および近畿府県の構成比に比べると、本県は近畿府県とはほぼ同水準であり、全国とは割合で 10 ポイント余り高い傾向にある。

また、「河川・水路」では、本県は河川・水路のある農業集落（1,519 集落：95.1%）において「保全している」集落は 569 集落（35.6%），「保全していない」集落は 950 集落（59.5%）と後者が多い（表 17 参照）。全国および近畿府県の構成比に比べると、「保全している」集落割合では本県は近畿府県より低いものの、全国とは同程度の水準にある。

最後に、「農業用排水路」では、本県は農業用排水路のある農業集落（1,462 集落：91.5%）において「保全している」集落は 1,098 集落（68.8%）と多く、「保全していない」集落は 364 集落（22.8%）にとどまっている（表 18 参照）。全国および近畿府県の構成比に比べると、本県の「保全している」集落割合は近畿府県に比べて低いものの、全国とは同程度の水準にある。

以上のように、地域資源の保全状況では、本県の場合、農業用排水路を「保全している」集落は約 7 割、農地を「保全している」およびため池・湖沼を「保全している」集落は約半数弱である。さらに、河川・水路を「保全している」集落は 3 分の 1 程度、森林を「保全している」集落は 1 割余りとなっている。

表14 地域資源の保全(農地)

		単位：集落，%				
		合計	農地のある 農業集落計	保全		農地のない 農業集落
				している	していない	
実 数	和歌山県	1,597	1,501	775	726	96
	近畿府県	10,807	10,544	4,948	5,596	263
	全 国	139,176	134,441	46,560	87,881	4,735
構 成 比	和歌山県	100.0	94.0	48.5	45.5	6.0
	近畿府県	100.0	97.6	45.8	51.8	2.4
	全 国	100.0	96.6	33.5	63.1	3.4

資料：表 1 と同じ。

表15 地域資源の保全(森林)

単位：集落，％

		合計	森林のある 農業集落計	保 全		森林のない 農業集落
				している	していない	
実 数	和歌山県	1,597	1,368	176	1,192	229
	近畿府県	10,807	8,792	2,535	6,257	2,015
	全 国	139,176	106,467	20,260	86,207	32,709
構 成 比	和歌山県	100.0	85.7	11.0	74.6	14.3
	近畿府県	100.0	81.4	23.5	57.9	18.6
	全 国	100.0	76.5	14.6	61.9	23.5

資料：表1と同じ。

表16 地域資源の保全(ため池・湖沼)

単位：集落，％

		合計	ため池・ 湖沼のある 農業集落計	ため池・ 湖沼のない 農業集落		
				保全 している	保全 していない	
実 数	和歌山県	1,597	720	477	243	877
	近畿府県	10,807	5,354	3,641	1,713	5,453
	全 国	139,176	42,549	24,065	18,484	96,627
構 成 比	和歌山県	100.0	45.1	29.9	15.2	54.9
	近畿府県	100.0	49.5	33.7	15.9	50.5
	全 国	100.0	30.6	17.3	13.3	69.4

資料：表1と同じ。

注：ため池・湖沼とは、かんがい用水をためておく人工または天然の池をいう。

表17 地域資源の保全(河川・水路)

単位：集落，％

		合計	河川・		河川・	
			水路のある 農業集落計			水路のない 農業集落
				保全 している	保全 していない	
実 数	和歌山県	1,597	1,519	569	950	78
	近畿府県	10,807	9,934	5,514	4,420	873
	全 国	139,176	120,410	52,527	67,883	18,766
構 成 比	和歌山県	100.0	95.1	35.6	59.5	4.9
	近畿府県	100.0	91.9	51.0	40.9	8.1
	全 国	100.0	86.5	37.7	48.8	13.5

資料：表1と同じ。

注：河川・水路とは、一級河川、二級河川のほか小川等の小さい水流および運河をいう。

表18 地域資源の保全(農業用排水路)

単位：集落，％

		合計	農業用排水路のある農業集落計	保全		農業用排水路のない農業集落
				保全している	保全していない	
実数	和歌山県	1,597	1,462	1,098	364	135
	近畿府県	10,807	10,290	8,737	1,553	517
	全 国	139,176	126,132	92,162	33,970	13,044
構成比	和歌山県	100.0	91.5	68.8	22.8	8.5
	近畿府県	100.0	95.2	80.8	14.4	4.8
	全 国	100.0	90.6	66.2	24.4	9.4

資料：表1と同じ。

注：農業用排水とは、農業用の用水または排水をいう。

5. その他集落農業（地域農業）にかかわる諸特徴

以下では、集落農業にかかわる諸特徴について、農業集落主位作物別類型集落数、65歳未満農業専従者がいる農家率別農業集落数、主業農家・組織経営体の有無別農業集落類型集落数の3つの側面から述べることにしよう。

表19は農業集落主位別作物別類型集落数をみたものである。この表は具体的には、農産物販売金額1位部門別農家（販売農家）数の割合の最も高い作物を中心に集落数およびその構成比をみたものである。それによると、「果樹類」が最も多く632集落（39.6％）で、次いで「稲作」が533集落（33.4％）となっており、両者（73.0％）を合わせると7割を超えている。これに対し、「花き・花木」は67集落（4.2％）、「工芸農作物」と「露地野菜」はともに38集落（2.4％）、「施設野菜」は26集落（1.6％）、「畜産」、「雑穀・いも類・豆類」、「その他作物」はいずれも数集落である。全国および近畿府県の構成比に比べると、本県の場合、「果樹類」のウエイトがきわめて高く、逆に「稲作」のウエイトが低い傾向にある。そのほかでは、「花き・花木」の割合はやや高いものの、他は同程度の水準といえる。

次に表20から農業集落の概況として、65歳未満農業専従者がいる農家率別農業集落数をみよう。本県において販売農家に対する65歳未満の農業専従者がいる集落は1,265集落（79.2％）である。そのなかで、その割合が「50％以上」は552集落（34.6％）と最も多く、次いで「20～30％未満」（189集落：11.8％）、「30～40％未満」（180集落：11.3％）、「40～50％未満」（173集落：10.8％）はともに1割余りの割合である。このほかでは、「10～20％」は123集落（7.7％）、「10％未満」は48集落（3.0％）となっている。なお、「農業専従者がいる農家なし」集落は207集落（13.0％）、「65歳未満の農業専従者がいる農家なし」集落は125集落（7.8％）である。全国および近畿府県の構成比に比べると、本県

の場合、販売農家に対する65歳未満の農業専従者がいる農家数の割合が「50%以上」集落および「40～50%未満」集落でウェイトが高いことが伺い知れる。

表21は、主業農家・組織経営体の有無別農業集落類型集落数をみたものである。それによると、本県では「主業農家あり」集落は1,007集落（63.1%）であり、そのうち「組織経営体あり」は109集落（6.8%）、「組織経営体なし」は898集落（56.2%）となっている。これに対し、「主業農家なし」集落は590集落（37.0%）であり、そのうち「組織経営体あり」集落は18集落（1.1%）、「組織経営体なし」集落は572集落（35.8%）となっている。全国および近畿府県の構成比に比べると、本県の場合、「主業農家あり」集落の割合が高いなかで、「組織経営体あり」集落の割合は低い傾向がみられる。

以上のように、本県において農業集落主位別作物別類型集落数では農産物販売金額1位部門別農家（販売農家）数の割合は「果樹類」が最もウェイトが大きく、それに「花き・花木」のウェイトも高いという特徴がみられる。また、販売農家に対する65歳未満の農業専従者がいる農家数の割合が「50%以上」集落の割合が高いとともに、「主業農家あり」集落の割合も高い傾向がみられる。

表19 農業集落主位作物別類型集落数

単位：集落，％

		合計	農産物販売金額1位部門別農家（販売農家）数の割合の最も高い作物									販売農家なし
			稲作	雑穀・いも類・豆類	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き・花木	その他の作物	畜産（養蚕含む）	
実数	和歌山県	1,597	533	3	38	38	26	632	67	3	4	253
	近畿府県	10,807	7,767	31	114	457	131	847	175	21	60	1,204
	全 国	139,176	83,790	2,841	3,628	9,486	4,159	10,476	1,695	921	4,984	17,196
構成比	和歌山県	100.0	33.4	0.2	2.4	2.4	1.6	39.6	4.2	0.2	0.3	15.8
	近畿府県	100.0	71.9	0.3	1.1	4.2	1.2	7.8	1.6	0.2	0.6	11.1
	全 国	100.0	60.2	2.0	2.6	6.8	3.0	7.5	1.2	0.7	3.6	12.4

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス第8巻 農業集落類型別統計報告書」，2012年。

表20 農業集落の概況（65歳未満農業専従者がいる農家率別農業集落数）

単位：集落，％

		合計	販売農家数に対する65歳未満の農業専従者がいる農家数の割合							65歳未満の農業専従者がいる農家なし	農業専従者がいる農家なし
			小計	10%未満	10～20	20～30	30～40	40～50	50%以上		
実数	和歌山県	1,597	1,265	48	123	189	180	173	552	125	207
	近畿府県	10,807	7,495	1,754	2,114	1,732	1,114	678	1,217	1,248	950
	全 国	139,176	112,795	9,620	20,363	22,144	16,878	11,763	32,027	11,725	14,656
構成比	和歌山県	100.0	79.2	3.0	7.7	11.8	11.3	10.8	34.6	7.8	13.0
	近畿府県	100.0	79.7	16.2	19.6	16.0	10.3	6.3	11.3	11.5	8.8
	全 国	100.0	81.0	6.9	14.6	15.9	12.1	8.5	23.0	8.4	10.5

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス第8巻 農業集落類型別統計報告書」，2012年。

注：農業専従者とは、専ら自営農業に従事している者であり、過去1年間に自営農業に従事した日数が150日以上のをいう。

表21 主業農家・組織経営体の有無別農業集落類型集落数

単位：集落，％

		合計	主業農家あり			主業農家なし		
			計	組織経営体 あり	組織経営体 なし	計	組織経営体 あり	組織経営体 なし
実 数	和歌山県	1,597	1,007	109	898	590	18	572
	近畿府県	10,807	5,547	1,177	4,370	5,260	835	4,425
	全 国	139,176	83,313	17,520	65,793	55,863	5,261	50,602
構 成 比	和歌山県	100.0	63.1	6.8	56.2	37.0	1.1	35.8
	近畿府県	100.0	51.3	21.2	40.4	48.7	7.7	41.0
	全 国	100.0	59.9	12.6	47.3	40.1	3.8	36.4

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス第8巻 農業集落類型別統計報告書」，2012年。

注：主業農家とは、販売農家で、そのうち農業所得が主（農家所得の50％以上が農業所得）で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる農家である。

Ⅳ. 市町村別特徴と集落活動

以下では、和歌山県内における市町村別にみた農業集落の特徴と集落活動について述べることにしたい。

集落数では、「100 集落以上」ある市町は、田辺市（236 集落）、和歌山市（163 集落）、紀の川市（133 集落）、有田川町（113 集落）の 4 市町である。次いで、「50～99 集落」は、海南市（89 集落）、日高川町（70 集落）、橋本市（68 集落）、白浜町（63 集落）、紀美野町（60 集落）の 5 市町である。また、「30～49 集落」は、古座川町（48 集落）、上富田町（47 集落）、かつらぎ町（45 集落）、みなべ町（44 集落）、那智勝浦町（42 集落）、岩出市（41 集落）、御坊市（39 集落）、新宮市（39 集落）、有田市（38 集落）、印南町（34 集落）、すさみ町（32 集落）の 11 市町である。さらに、「29 集落以下」は、串本町（29 集落）、広川町（27 集落）、日高町（21 集落）、湯浅町（17 集落）、由良町（17 集落）、高野町（15 集落）、九度山町（13 集落）の 7 市町に加えて、美浜町（7 集落）、北山村（5 集落）、太地町（2 集落）を合わせて 10 市町村である。

1. 農業集落の特徴

各市町村における農家率別農業集落数、耕地率別農業集落数、水田率別農業集落数から農業集落の特徴について述べることにしたい。

表 2 2 から農家率別農業集落数をみると、農家率「50％」以上集落の割合では、みなべ町（68.1％：30 集落、前者が構成比、後者が実集落数、以下同じ）が最も高く、次いでかつらぎ町（46.7％：21 集落）、広川町（44.4％：12 集落）、有田川町（44.3％：50 集落）と

なっている。さらに、紀美野町（31.7%：19 集落）、紀の川市（30.9%：41 集落）と続く。これらを含めて県平均（20.3%：323 集落）を超えているのは 10 市町と全体の 3 分の 1 である。

一方、農家率「10%未満」の集落をみると、集落割合で 50%を超えるのは、太地町（100.0%：2 集落）、美浜町（85.7%：6 集落）、岩出市（78.0%、32 集落）、湯浅町（76.5%：13 集落）、串本町（65.5%：19 集落）、北山村（60.0%：3 集落）、由良町（58.8%：10 集落）など 9 市町村である。

表22 農家率別農業集落数(和歌山県市町村)

	実 数					構 成 比				
	計	10%未満	10～30	30～50	50%以上	計	10%未満	10～30	30～50	50%以上
和歌山県	1,597	486	466	322	323	100.0	30.4	29.2	20.2	20.3
和歌山市	163	69	50	30	14	100.0	42.3	30.7	18.4	8.5
海南市	89	35	23	10	21	100.0	39.3	25.8	11.2	23.6
橋本市	68	29	15	7	17	100.0	42.6	22.1	10.3	25.0
有田市	38	15	16	6	1	100.0	39.5	42.1	15.8	2.6
御坊市	39	20	7	8	4	100.0	51.3	17.9	20.5	10.3
田辺市	236	74	76	50	26	100.0	31.4	32.2	21.1	11.0
新宮市	39	21	13	3	2	100.0	53.8	33.3	7.7	5.1
紀の川市	133	13	47	32	41	100.0	9.8	35.3	24.1	30.9
岩出市	41	32	8	－	1	100.0	78.0	19.5	－	2.4
紀美野町	60	5	16	20	19	100.0	8.3	26.7	33.3	31.7
かつらぎ町	45	3	12	9	21	100.0	6.7	26.7	20.0	46.7
九度山町	13	1	5	6	1	100.0	7.7	38.5	46.1	7.7
高野町	15	3	7	2	3	100.0	20.0	46.7	13.3	20.0
湯浅町	17	13	2	2	－	100.0	76.5	11.8	11.8	－
広川町	27	1	2	12	12	100.0	3.7	7.4	44.4	44.4
有田川町	113	4	33	26	50	100.0	3.5	29.2	23.0	44.3
美浜町	7	6	1	－	－	100.0	85.7	14.3	－	－
日高町	21	2	12	4	3	100.0	9.5	57.1	19.0	14.3
由良町	17	10	3	3	1	100.0	58.8	17.6	17.6	5.9
印南町	34	5	2	20	7	100.0	14.7	5.9	58.8	20.6
みなべ町	44	6	3	5	30	100.0	13.6	6.8	11.4	68.1
日高川町	70	5	24	24	17	100.0	7.1	34.3	34.3	24.3
白浜町	63	30	18	8	7	100.0	47.6	28.6	12.7	11.1
上富田町	47	12	24	7	4	100.0	25.5	51.0	14.9	8.5
すさみ町	32	9	8	10	5	100.0	28.1	25.0	31.3	15.6
那智勝浦町	42	21	8	11	2	100.0	50.0	19.0	26.2	4.8
太地町	2	2	－	－	－	100.0	100.0	－	－	－
古座川町	48	18	20	7	3	100.0	37.5	41.7	14.6	6.3
北山村	5	3	2	－	－	100.0	60.0	40.0	－	－
串本町	29	19	9	－	1	100.0	65.5	31.0	－	3.4

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス第1巻 和歌山県統計書」2012年、より作成。

注：市町村別では、「50%以上」として掲載している。

表23は、耕地率別農業集落数をみたものである。耕地率「50%以上」集落に注目すると、有田市(44.7%:17集落、前者が構成比、後者が実集落数、以下同じ)、紀の川市(25.2%:39集落)、和歌山市(23.9%:39集落)、湯浅町(23.5%:4集落)、有田川町(14.2%:15集落)などで割合が高く、これらを含めて県平均(10.9%:174集落)を超えているのは8市町である。

一方、耕地率「10%未満」集落では、太地町(100.0%:2集落)、串本町(93.1%:27集落)、すさみ町(87.5%:28集落)、新宮市(82.1%:32集落)、高野町(80.0%:12集落)、北山村(80.0%:4集落)など6市町村が割合で80%以上である。なお、耕地のない集落は、田辺市(25集落)、古座川町(12集落)、和歌山市(10集落)、白浜町(9集落)などで多い。

表23 耕地率別農業集落数(和歌山県市町村)

	実 数							構 成 比						
	計						耕地のない 農業集落	計						耕地のない 農業集落
		小計	10%未満	10～30	30～50	50%以上			小計	10%未満	10～30	30～50	50%以上	
和歌山県	1,597	1,501	689	401	237	174	96	100.0	94.0	43.1	25.1	14.8	10.9	6.0
和歌山市	163	153	31	53	30	39	10	100.0	93.4	19.0	32.5	18.4	23.9	6.1
海南市	89	82	12	37	23	10	7	100.0	92.1	13.5	41.6	25.8	11.2	7.9
橋本市	68	67	23	29	15	-	1	100.0	98.5	33.8	42.6	22.1	-	1.5
有田市	38	38	3	11	7	17	-	100.0	100.0	7.9	28.9	18.4	44.7	-
御坊市	39	35	2	24	8	1	4	100.0	89.7	5.1	61.5	20.5	2.6	10.3
田辺市	236	211	142	28	22	19	25	100.0	89.4	60.2	11.9	9.3	8.1	10.6
新宮市	39	33	32	1	-	-	6	100.0	84.6	82.1	2.6	-	-	15.4
紀の川市	133	133	20	35	39	39	-	100.0	100.0	15.0	26.3	29.3	25.2	-
岩出市	41	41	9	16	12	4	-	100.0	100.0	22.0	39.0	29.3	9.8	-
紀美野町	60	60	38	20	2	-	-	100.0	100.0	63.3	33.3	3.3	-	-
かつらぎ町	45	45	13	16	12	4	-	100.0	100.0	28.9	39.0	26.7	8.9	-
九度山町	13	13	6	4	2	1	-	100.0	100.0	46.2	30.8	15.4	7.7	-
高野町	15	13	12	1	-	-	2	100.0	72.2	80.0	6.7	-	-	13.3
湯浅町	17	12	1	7	-	4	5	100.0	70.6	5.9	5.9	-	23.5	29.4
広川町	27	27	13	6	7	1	-	100.0	100.0	48.1	22.2	25.9	3.7	-
有田川町	113	113	50	23	25	15	-	100.0	100.0	44.2	20.4	22.1	14.2	-
美浜町	7	7	3	2	2	-	-	100.0	100.0	42.9	28.6	28.6	-	-
日高町	21	21	13	4	1	2	-	100.0	100.0	61.9	19.0	4.8	9.5	-
由良町	17	16	8	6	1	1	1	100.0	94.1	47.1	35.3	5.9	5.9	5.9
印南町	34	33	17	14	2	-	1	100.0	97.1	50.0	41.2	5.9	-	2.9
みなべ町	44	43	7	16	8	5	1	100.0	97.7	15.9	36.4	18.2	11.4	2.3
日高川町	70	67	53	10	4	-	3	100.0	95.7	75.7	14.3	5.7	-	4.3
白浜町	63	54	40	11	3	-	9	100.0	85.7	63.5	17.5	4.8	-	14.2
上富田町	47	47	12	20	11	5	-	100.0	100.0	25.5	42.6	23.4	10.7	-
すさみ町	32	31	28	2	1	-	1	100.0	96.9	87.5	6.3	3.1	-	3.1
那智勝浦町	42	36	32	4	-	1	6	100.0	85.7	76.2	9.5	-	2.4	14.3
太地町	2	2	2	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-
古座川町	48	36	36	-	-	-	12	100.0	75.0	75.0	-	-	-	25.0
北山村	5	4	4	-	-	-	1	100.0	80.0	80.0	-	-	-	20.0
串本町	29	28	27	1	-	1	1	100.0	96.6	93.1	3.4	-	3.4	3.4

資料：農林水産省「2010年世界農業センサス第1巻 和歌山県統計書」2012年、より作成。

注：市町村別では、「50%以上」として掲載した。

表24は、水田率別農業集落数をみたものである。これによると、「畑地集落（水田率30%未満）」において有田市（97.4%：37集落，前者が構成比，後者が実集落数，以下同じ）を筆頭に，湯浅町（82.4%：14集落），かつらぎ町（80.0%：36集落），九度山町（76.9%：

表24 水田率別農業集落数(和歌山県市町村)

単位：集落，%

	実 数				構 成 比			
	計	水田集落 (70%以上)	田畑集落 (30～70)	畑地集落 (30%未満)	計	水田集落 (70%以上)	田畑集落 (30～70)	畑地集落 (30%未満)
和歌山県	1,597	405	485	707	100.0	25.4	30.4	44.3
和歌山市	163	96	36	31	100.0	58.9	22.1	19.0
海南市	89	8	20	61	100.0	9.0	22.5	68.5
橋本市	68	11	38	19	100.0	16.2	55.9	27.9
有田市	38	1	－	37	100.0	2.6	－	97.4
御坊市	39	22	9	8	100.0	56.4	23.1	20.5
田辺市	236	27	80	129	100.0	11.4	33.9	54.7
新宮市	39	15	16	8	100.0	38.5	41.0	20.5
紀の川市	133	29	41	63	100.0	21.8	30.8	47.4
岩出市	41	38	2	1	100.0	92.7	4.9	2.4
紀美野町	60	8	23	29	100.0	13.3	38.3	48.3
かつらぎ町	45	3	6	36	100.0	6.7	13.3	80.0
九度山町	13	－	3	10	100.0	－	23.1	76.9
高野町	15	1	4	10	100.0	6.7	26.7	66.7
湯浅町	17	1	2	14	100.0	5.9	11.8	82.4
広川町	27	1	13	13	100.0	3.7	48.1	48.1
有田川町	113	7	28	78	100.0	6.2	24.8	69.0
美浜町	7	4	3	－	100.0	57.1	42.9	－
日高町	21	18	3	－	100.0	85.7	14.3	－
由良町	17	3	6	8	100.0	17.6	35.3	47.1
印南町	34	3	21	10	100.0	8.8	61.8	29.4
みなべ町	44	2	11	31	100.0	4.5	25.0	70.5
日高川町	70	7	46	17	100.0	10.0	65.7	24.3
白浜町	63	19	13	31	100.0	30.2	20.6	49.2
上富田町	47	10	21	16	100.0	21.3	44.7	34.0
すさみ町	32	13	13	6	100.0	40.6	40.6	18.8
那智勝浦町	42	22	11	9	100.0	52.4	26.2	21.4
太地町	2	1	－	1	100.0	50.0	－	50.0
古座川町	48	23	10	15	100.0	47.9	20.8	31.3
北山村	5	－	2	3	100.0	－	40.0	60.0
串本町	29	12	4	13	100.0	41.4	13.8	44.8

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス第1巻 和歌山県統計書」2012年，より作成。

注：（ ）内は水田率である。

10 集落），みなべ町（70.5％：31 集落），有田川町（69.0％：78 集落），海南市（68.5％：61 集落）などで割合が高く，これらを含めて県平均（44.3％：707 集落）を上回っているのは 17 市町村である。

一方，「水田集落（水田率 70％以上）」において岩出市（92.7％：38 集落），日高町（85.7％：18 集落），和歌山市（58.9％：96 集落），美浜町（57.1％：4 集落），御坊市（56.4％：22 集落）などで割合が高く，これらを含めて県平均（25.4％：405 集落）を上回る市町村は 12 市町である。

このように，市町村別にみた農業集落の特徴では，農家率別農業集落数で県平均（農家率「50％以上」：20.3％）を超えているのは 10 市町であり，なかでもみなべ町，かつらぎ町，広川町，有田川町などは割合の高い市町である。また，耕地率別農業集落数で県平均（耕地率「50％以上」：10.9％）を超えているのは 8 市町であり，そのうち有田市，紀の川市，和歌山市，湯浅町などがウエイトの高い市町である。さらに，水田率別農業集落数で県平均を上回る市町村は，「畑地集落」（県平均：44.3％）では 17 市町村，「水田集落」（県平均：25.4％）では 12 市町である。とりわけ有田市，湯浅町，かつらぎ町，九度山町，みなべ町，有田川町，海南市などは「畑地集落」のウエイトが高い市町であり，他方，岩出市，日高町，和歌山市，美浜町，御坊市，那智勝浦町などは「水田集落」のウエイトが高い。本県では，前者はおおむね畑地（樹園地）地帯，後者はおおむね水田地帯として性格づけることができる。

2. 集落活動の特徴

以下では、集落活動の特徴について、地域資源の保全（農地、森林、ため池・湖沼、河川・水路、農業用排水路）の側面から市町村別に述べることにしたい。

表25は地域資源の保全として「農地」の状況についてみたものである。これによると、「保全している」農業集落が50%水準を超えている市町村は、広川町（100.0%：27集落、前者が構成比、後者が実集落数、以下同じ）、美浜町（100.0%：7集落）、有田川町（90.3%：102集落）、かつらぎ町（88.9%：40集落）、紀美野町（88.3%：53集落）、有田市（78.9%：30集落）など13市町である。また、「保全していない」農業集落では、太地町（100%：2集落）、由良町（94.1%：16集落）、すさみ町（93.8%：30集落）、岩出市（92.7%：38集落）、串本町（86.2%：25集落）などの市町村で割合が高い。

表25 地域資源の保全(農地)

単位：集落，％

	実 数					構 成 比				
	計	小計			農地のない 農業集落	計	小計			農地のない 農業集落
			保全 している	保全 していない				保全 している	保全 していない	
和歌山県	1,597	1,501	775	726	96	100.0	94.0	48.5	45.5	6.0
和歌山市	163	153	64	89	10	100.0	93.9	39.3	54.6	6.1
海南市	89	82	54	28	7	100.0	92.1	60.6	31.5	7.9
橋本市	68	67	37	30	1	100.0	98.5	54.4	44.1	1.5
有田市	38	38	30	8	－	100.0	100.0	78.9	21.1	0.0
御坊市	39	35	5	30	4	100.0	89.7	12.8	76.9	10.3
田辺市	236	211	101	110	25	100.0	89.4	42.8	46.6	10.6
新宮市	39	33	6	27	6	100.0	84.6	15.4	69.2	15.4
紀の川市	133	133	55	78	－	100.0	100.0	41.4	58.6	0.0
岩出市	41	41	3	38	－	100.0	100.0	7.3	92.7	0.0
紀美野町	60	60	53	7	－	100.0	100.0	88.3	11.7	0.0
かつらぎ町	45	45	40	5	－	100.0	100.0	88.9	11.1	0.0
九度山町	13	13	10	3	－	100.0	100.0	76.9	23.1	0.0
高野町	15	13	2	11	2	100.0	86.7	13.3	73.3	13.3
湯浅町	17	12	12	－	5	100.0	70.6	70.6	0.0	29.4
広川町	27	27	27	－	－	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
有田川町	113	113	102	11	－	100.0	100.0	90.3	9.7	0.0
美浜町	7	7	7	－	－	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
日高町	21	21	12	9	－	100.0	100.0	57.1	42.9	0.0
由良町	17	16	－	16	1	100.0	94.1	0.0	94.1	5.9
印南町	34	33	15	18	1	100.0	97.1	44.1	52.9	2.9
みなべ町	44	43	32	11	1	100.0	97.7	72.7	25.0	2.3
日高川町	70	67	51	16	3	100.0	95.7	72.9	22.9	4.3
白浜町	63	54	4	50	9	100.0	85.7	6.3	79.4	14.3
上富田町	47	47	17	30	－	100.0	100.0	36.1	63.8	0.0
すさみ町	32	31	1	30	1	100.0	96.9	3.1	93.8	3.1
那智勝浦町	42	36	22	14	6	100.0	85.7	52.4	33.3	14.3
太地町	2	2	－	2	－	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
古座川町	48	36	10	26	12	100.0	75.0	20.8	54.2	25.0
北山村	5	4	－	4	1	100.0	80.0	0.0	80.0	20.0
串本町	29	28	3	25	1	100.0	96.6	10.3	86.2	3.4

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス第1巻 和歌山県統計書」2012年，より作成。

表26は地域資源の保全として「森林」の状況についてみたものである。これによると、総じて「保全していない」農業集落（ただし、森林のない農業集落は県全体で14.3%あり）が多いなかで、「保全している」農業集落に注目すると、那智勝浦町（45.2%：19集落、前者が構成比、後者が実集落数、以下同じ）、美浜町（42.9%：4集落）、みなべ町（34.1%：15集落）、九度山町（30.8%：4集落）、有田川町（28.3%：32集落）、古座川町（27.1%：13集落）などの市町で高い割合である。

表26 地域資源の保全（森林）

単位：集落，%

	実 数					構 成 比				
	計	小計	森林のない農業集落		森林のない農業集落	計	小計	森林のない農業集落		森林のない農業集落
			保全している	保全していない				保全している	保全していない	
和歌山県	1,597	1,368	176	1,192	229	100.0	85.7	11.0	74.6	14.3
和歌山市	163	105	6	99	58	100.0	64.4	3.7	3.7	35.6
海南市	89	78	8	70	11	100.0	87.6	9.0	78.7	12.4
橋本市	68	58	7	51	10	100.0	85.3	10.3	75.0	14.7
有田市	38	32	—	32	6	100.0	84.2	0.0	84.2	15.8
御坊市	39	22	1	21	17	100.0	56.4	2.6	53.8	43.6
田辺市	236	225	9	216	11	100.0	95.3	3.8	91.5	4.7
新宮市	39	38	5	33	1	100.0	97.4	12.8	84.6	2.6
紀の川市	133	74	12	62	59	100.0	55.6	9.0	9.0	44.4
岩出市	41	13	—	13	28	100.0	31.7	0.0	31.7	68.3
紀美野町	60	60	2	58	—	100.0	100.0	3.3	96.7	0.0
かつらぎ町	45	42	9	33	3	100.0	93.3	20.0	73.3	6.7
九度山町	13	13	4	9	—	100.0	100.0	30.8	69.2	0.0
高野町	15	15	2	13	—	100.0	100.0	13.3	86.7	0.0
湯浅町	17	12	—	12	5	100.0	70.6	0.0	70.6	29.4
広川町	27	26	—	26	1	100.0	96.3	0.0	96.3	3.7
有田川町	113	103	32	71	10	100.0	91.2	28.3	62.8	8.8
美浜町	7	7	3	4	—	100.0	100.0	42.9	57.1	0.0
日高町	21	21	4	17	—	100.0	100.0	19.0	81.0	0.0
由良町	17	17	—	17	—	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
印南町	34	34	8	26	—	100.0	100.0	23.5	76.5	0.0
みなべ町	44	38	15	23	6	100.0	86.4	34.1	52.3	13.6
日高川町	70	70	10	60	—	100.0	100.0	14.3	85.7	0.0
白浜町	63	61	—	61	2	100.0	96.8	0.0	96.8	3.2
上富田町	47	46	3	43	1	100.0	97.9	6.4	91.5	2.1
すさみ町	32	32	—	32	—	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
那智勝浦町	42	42	19	23	—	100.0	100.0	45.2	54.8	0.0
太地町	2	2	—	2	—	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
古座川町	48	48	13	35	—	100.0	100.0	27.1	72.9	0.0
北山村	5	5	—	5	—	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
串本町	29	29	4	25	—	100.0	100.0	13.8	86.2	0.0

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス第1巻 和歌山県統計書」2012年，より作成。

表27は地域資源の保全として「ため池・湖沼」の状況についてみたものである。「保全していない」農業集落が半数を超えているなかで、「保全している」農業集落に注目すると、印南町（82.4%：28集落，前者が構成比，後者が実集落数，以下同じ），日高町（76.2%：16集落），橋本市（63.2%：43集落），美浜町（57.1%：4集落），みなべ町（54.5%：24集落）などで割合が高く，これらを含めて12市町村が県平均（29.9%）を超えている。一方，「保全していない」農業集落を市町村別にみると，北山村（100.0%：5集落），由良町（64.7%：11集落），太地町（50.0%：1集落），上富田町（44.7%：21集落），串本町（31.0%：9集落），九度山町（30.8%：4集落）などで割合が高く，これらを含めて14市町村が県平均（15.2%）を超えている。

表27 地域資源の保全(ため池・湖沼)

単位：集落，%

	実 数					構 成 比				
	計	小計	ため池・湖沼 の ない		農業集落	計	小計	保 全		ため池・湖沼 の ない
			保 全 している	保 全 していない				保 全 している	保 全 していない	
和歌山県	1,597	720	477	243	877	100.0	45.1	29.9	15.2	54.9
和歌山市	163	81	51	30	82	100.0	49.7	31.3	18.4	50.3
海南市	89	54	43	11	35	100.0	60.7	48.3	12.4	39.3
橋本市	68	51	43	8	17	100.0	75.0	63.2	11.8	25.0
有田市	38	9	5	4	29	100.0	23.7	13.2	10.5	76.3
御坊市	39	17	16	1	22	100.0	43.6	41.0	2.6	56.4
田辺市	236	66	26	40	170	100.0	28.0	11.0	16.9	72.0
新宮市	39	4	2	2	35	100.0	10.3	5.1	5.1	89.7
紀の川市	133	86	72	14	47	100.0	64.7	54.1	10.5	35.3
岩出市	41	16	10	6	25	100.0	39.0	24.4	14.6	61.0
紀美野町	60	19	3	16	41	100.0	31.7	5.0	26.7	68.3
かつらぎ町	45	25	18	7	20	100.0	55.6	40.0	15.6	44.4
九度山町	13	7	3	4	6	100.0	53.8	23.1	30.8	46.2
高野町	15	1	－	1	14	100.0	6.7	0.0	6.7	93.3
湯浅町	17	6	3	3	11	100.0	35.3	17.6	17.6	64.7
広川町	27	10	10	－	17	100.0	37.0	37.0	0.0	63.0
有田川町	113	55	45	10	58	100.0	48.7	39.8	8.8	51.3
美浜町	7	5	4	1	2	100.0	71.4	57.1	14.3	28.6
日高町	21	20	16	4	1	100.0	95.2	76.2	19.0	4.8
由良町	17	14	3	11	3	100.0	82.4	17.6	64.7	17.6
印南町	34	31	28	3	3	100.0	91.2	82.4	8.8	8.8
みなべ町	44	33	24	9	11	100.0	75.0	54.5	20.5	25.0
日高川町	70	29	24	5	41	100.0	41.4	34.3	7.1	58.6
白浜町	63	19	5	14	44	100.0	30.2	7.9	22.2	69.8
上富田町	47	22	1	21	25	100.0	46.8	2.1	44.7	53.2
すさみ町	32	1	－	1	31	100.0	3.1	0.0	3.1	96.9
那智勝浦町	42	11	10	1	31	100.0	26.2	23.8	2.4	73.8
太地町	2	2	1	1	－	100.0	100.0	50.0	50.0	0.0
古座川町	48	7	6	1	41	100.0	14.6	12.5	2.1	85.4
北山村	5	5	－	5	－	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
串本町	29	14	5	9	15	100.0	48.3	17.2	31.0	51.7

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス第1巻 和歌山県統計書」2012年，より作成。

表28は地域資源の保全として「河川・水路」の状況についてみたものである。「保全している」農業集落をみると、橋本市（80.9%：55集落），みなべ町（68.2%：30集落），由良町（64.7%：11集落），美浜町（57.1%：4集落），那智勝浦町（54.8%：23集落），印南町（52.9%：18集落），串本町（51.7%：15集落）などで割合が高く，これらを含めて14市町村が県平均（35.6%）を超えている。一方，「保全していない」農業集落を市町村別にみると，広川町（100.0%：27集落），北山村（100.0%：5集落），太地町（100.0%：2集落），紀美野町（95.0%：57集落），九度山町（84.6%：11集落）などで割合が高い。なお，「河川・水路」のない農業集落は，岩出市（構成比：61.0%），有田市（同：34.2%），湯浅町（29.4%），御坊市（同：25.6%）で割合が高い。

表28 地域資源の保全(河川・水路)

単位：集落，%

	実 数					構 成 比				
	計	小計	河川・水路			計	小計	河川・水路		
			保全 している	保全 していない	の ない 農業集落			保全 している	保全 していない	の ない 農業集落
和歌山県	1,597	1,519	569	950	78	100.0	95.1	35.6	59.5	4.9
和歌山市	163	162	61	101	1	100.0	99.4	37.4	62.0	0.6
海南市	89	89	39	50	－	100.0	100.0	43.8	56.2	0.0
橋本市	68	64	55	9	4	100.0	94.1	80.9	13.2	5.9
有田市	38	25	7	18	13	100.0	65.8	18.4	47.4	34.2
御坊市	39	29	10	19	10	100.0	74.4	25.6	48.7	25.6
田辺市	236	230	54	176	6	100.0	97.5	22.9	74.6	2.5
新宮市	39	38	9	29	1	100.0	97.4	23.1	23.1	2.6
紀の川市	133	130	64	66	3	100.0	97.7	48.1	49.6	2.3
岩出市	41	16	2	14	25	100.0	39.0	4.9	34.1	61.0
紀美野町	60	60	3	57	－	100.0	100.0	5.0	95.0	0.0
かつらぎ町	45	45	21	24	－	100.0	100.0	46.7	53.3	0.0
九度山町	13	13	2	11	－	100.0	100.0	15.4	84.6	0.0
高野町	15	15	7	8	－	100.0	100.0	46.7	53.3	0.0
湯浅町	17	12	－	12	5	100.0	70.6	0.0	70.6	29.4
広川町	27	27	－	27	－	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
有田川町	113	113	42	71	－	100.0	100.0	37.2	62.8	0.0
美浜町	7	7	4	3	－	100.0	100.0	57.1	42.9	0.0
日高町	21	20	7	13	1	100.0	95.2	33.3	61.9	4.8
由良町	17	17	11	6	－	100.0	100.0	0.0	100.0	64.7
印南町	34	33	18	15	1	100.0	97.1	52.9	44.1	2.9
みなべ町	44	42	30	12	2	100.0	95.5	68.2	27.3	4.5
日高川町	70	70	18	52	－	100.0	100.0	25.7	74.3	0.0
白浜町	63	60	25	35	3	100.0	95.2	39.7	55.6	4.8
上富田町	47	47	16	31	－	100.0	100.0	34.0	66.0	0.0
すさみ町	32	32	9	23	－	100.0	100.0	28.1	71.9	0.0
那智勝浦町	42	42	23	19	－	100.0	100.0	54.8	45.2	0.0
太地町	2	2	－	2	－	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
古座川町	48	48	17	31	－	100.0	100.0	35.4	64.6	0.0
北山村	5	5	－	5	－	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
串本町	29	26	15	11	3	100.0	89.7	51.7	37.9	10.3

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス第1巻 和歌山県統計書」2012年，より作成。

表29は地域資源の保全として「農業用排水路」の状況についてみたものである。「保全している」農業集落を市町村別にみると、広川町（100.0%：27集落）、美浜町（100.0%：7集落）、みなべ町（95.5%：42集落）、日高川町（94.3%：66集落）、印南町（94.1%：32集落）、日高町（85.7%：18集落）、橋本市（85.3%：58集落）、和歌山市（82.2%：134集落）、紀の川市（82.0%：109集落）、有田川町（80.5%：91集落）などで割合が高く、これらを含めて15市町村が県平均（68.8%）を超えている。一方、「保全していない」農業集落を市町村別にみると、太地町（100.0%：2集落）、由良町（88.2%：15集落）、北山村（80.0%：4集落）などで割合が高い。なお、「農業用排水路」のない農業集落は、高野町（構成比：40.0%）、串本町（同：34.5%）、白浜町（同：30.2%）、湯浅町（同：29.4%）などで割合が高い。

表29 地域資源の保全（農業用排水路）

単位：集落，%

	実 数					構 成 比				
	計	小計	農業用排水路のない農業集落		農業用排水路のない農業集落	計	小計	農業用排水路のない農業集落		農業用排水路のない農業集落
			保全している	保全していない				保全している	保全していない	
和歌山県	1,597	1,462	1,098	364	135	100.0	91.5	68.8	22.8	8.5
和歌山市	163	161	134	27	2	100.0	98.8	82.2	16.6	1.2
海南市	89	75	65	10	14	100.0	84.3	73.0	11.2	15.7
橋本市	68	65	58	7	3	100.0	95.6	85.3	10.3	4.4
有田市	38	31	9	22	7	100.0	81.6	23.7	57.9	18.4
御坊市	39	35	31	4	4	100.0	89.7	79.5	10.2	10.2
田辺市	236	215	137	78	21	100.0	91.1	58.1	33.1	8.9
新宮市	39	34	10	24	5	100.0	87.2	25.6	61.5	12.8
紀の川市	133	128	109	19	5	100.0	96.2	82.0	14.3	3.8
岩出市	41	41	30	11	-	100.0	100.0	73.2	26.8	0.0
紀美野町	60	58	39	19	2	100.0	96.7	65.0	31.7	3.3
かつらぎ町	45	40	27	13	5	100.0	88.9	60.0	28.9	11.1
九度山町	13	12	6	6	1	100.0	92.3	46.1	46.1	7.7
高野町	15	9	6	3	6	100.0	60.0	40.0	20.0	40.0
湯浅町	17	12	7	5	5	100.0	70.6	41.2	29.4	29.4
広川町	27	27	27	-	-	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
有田川町	113	113	91	22	-	100.0	100.0	80.5	19.5	0.0
美浜町	7	7	7	-	-	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
日高町	21	21	18	3	-	100.0	100.0	85.7	14.3	0.0
由良町	17	15	-	15	2	100.0	88.2	0.0	88.2	11.8
印南町	34	34	32	2	-	100.0	100.0	94.1	5.9	0.0
みなべ町	44	43	42	1	1	100.0	97.7	95.5	2.3	2.3
日高川町	70	67	66	1	3	100.0	95.7	94.3	1.4	4.3
白浜町	63	44	26	18	19	100.0	69.8	41.3	28.6	30.2
上富田町	47	44	35	9	3	100.0	93.6	74.5	19.1	6.4
すさみ町	32	29	23	6	3	100.0	90.6	71.9	18.8	9.4
那智勝浦町	42	40	25	15	2	100.0	95.2	59.5	35.7	4.8
太地町	2	2	-	2	-	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0
古座川町	48	37	26	11	11	100.0	77.1	54.2	22.9	22.9
北山村	5	4	-	4	1	100.0	80.0	0.0	80.0	20.0
串本町	29	19	2	7	10	100.0	65.5	6.9	24.1	34.5

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス第1巻 和歌山県統計書」2012年，より作成。

以上のように、地域資源の保全（農地、森林、ため池・湖沼、河川・水路、農業用排水路）の側面から市町村別にみた集落活動の特徴については、次のように指摘できる。

「農地」では、「保全している」農業集落が50%水準を超えている市町村が13市町村である。とくに広川町、美浜町、有田川町、かつらぎ町、紀美野町などは集落全体の7割以上を占めている。

「森林」では、「保全している」農業集落は那智勝浦町、美浜町、みなべ町、九度山町、有田川町、古座川町、印南町、かつらぎ町などが構成比の高い市町である。

「ため池・湖沼」では、「保全している」農業集落は県平均を超えているのは12市町である。なかでも印南町、日高町、橋本市で割合が高い。他方、「保全していない」農業集落は北山村、由良町、太地町、上富田町などで割合が高い。

「河川・水路」では、「保全している」農業集落の割合が県平均を上回っているのは14市町である。なかでも橋本市、みなべ町、由良町、美浜町、那智勝浦町など7市町は構成比で50%を超えている。一方、「保全していない」農業集落は、広川町、北山村、太地町、紀美野町などで割合が高い。

最後に、「農業用排水路」では、「保全している」農業集落の割合において広川町、美浜町、みなべ町、日高町、印南町などの15市町村が県平均を超えている一方で、「保全していない」農業集落の割合において太地町、由良町、北山村、新宮市、有田市などの15市町村が県平均を超えている。

V. まとめ

2010年世界農林業センサス「農山村地域調査（農業集落調査）」結果を中心に農業集落データの整理・分析・検討を通じていくつかの点が明らかになった。それらを要約すると、以下のとおりである。

1) 本県農業の特色は、果樹を基幹にして野菜や花きなど園芸農業主体とはいえ、中山間地域も多いことから農業集落の立地条件や法制上の地域指定の様相にも特色がある。すなわち、1つは、農業集落の立地条件では、「中間農業地域」と「山間農業地域」のいわゆる中山間地域に立地する農業集落が全体の6割余りを占めており、それは全国や近畿府県に比べて10ポイント程度高いこと。2つは、D I Dまでの所要時間別集落数でも総じて所要時間が多くかかる集落の割合が高いこと、併せて都市計画制度に該当する集落の割合が低いこと。3つは、農業集落の地域指定状況では、「半島振興対策実施地域」をはじめ、「振興山村地域」、「特定農山村地域」、「過疎地域」などの地域指定に立地する割合が高いこと、以上である。

2) 農家状況、耕地状況、実行組合の有無別から本県は次のような特色を有している。

1つは、農家数規模では「20～29戸」規模以下が全体の約4分の3を占めており、農家率も50%未満の集落が多くを占めていること。2つは、耕地面積規模別農家数では「30ha」規模未満が全体の約7割を占めるなかで、「畑地集落」の割合が高いこと。3つは、「実行組合のある」農業集落の割合が少ないこと、などである。こうしたなかで、農業集落の寄り合い状況では、全国および近畿府県と比較して本県は寄り合い開催集落数の割合が低く、また開催回数も総じて少ないなかで、主要課題は「農業集落行事の計画推進（祭り・イベント等）」、「環境美化・自然環境の保全」、「農道・農業用排水路・ため池の管理」などである。

3) 地域資源の保全状況を「農地」、「森林」、「ため池・湖沼」、「河川・水路」、「農業用排水路」別にみると以下のような特徴がある。農業用排水路を「保全している」集落は約7割、農地やため池・湖沼を「保全している」集落は約半数弱、河川・水路を「保全している」集落は約3分の1程度、森林を「保全している」集落は1割余りである。なお、本県の場合、全国および近畿府県に比べて農地では「保全している」集落の割合が高いなかで、森林では「保全している」集落の割合が低い状況にある。

4) 集落農業（地域農業）については、全国および近畿府県に比べて本県は次のような特徴がみられる。1つは、農業集落主位別作物別類型集落数では、農産物販売金額1位部門別農家（販売農家）数の割合は「果樹類」が最も多く、次いで「花き・花木」のウエイトも高い。2つは、販売農家に対する65歳未満の農業専従者がいる農家数割合では「50%以上」集落の割合が高いとともに、「主業農家あり」集落の割合も高い傾向を示している。

5) 最後に、市町村別にみた農業集落状況では、「100集落以上」が4市町あるなか、「50～99集落」は5市町、「30～49集落」は11町、「29集落以下」は10市町村である。このうち「10集落未満」は3町村である。このように、集落数では市町村間で大きな差がみられるなかで、以下の点が指摘できる。

1つは、農家率別農業集落数では農家率「50%以上」集落の割合で県平均以上はみなべ町、かつらぎ町、広川町、有田川町など10市町であり、また耕地率別農業集落数では耕地率「50%以上」集落の割合で県平均以上は有田市、紀の川市、和歌山市、湯浅町など8市町である。

2つは、「畑地集落」の特色を有している市町は、有田市、湯浅町、かつらぎ町、九度山町、みなべ町、有田川町、海南市などで、これらの市町の特色は果樹地帯としての様相が強い。一方、「水田集落」の特色を有する市町は、岩出市、日高町、和歌山市、美浜町、御坊市、那智勝浦町などで、これらは水田地帯、野菜地帯、施設園芸地帯の様相が強いと考えられる。

3つは、地域資源の保全としての集落活動の特徴としては、次の諸点が指摘できる。すなわち、①「農地」では「保全している」農業集落が50%水準を超えている市町村は13市町村、②「森林」では「保全している」農業集落の割合が県平均を超えているのは13市町村、③「ため池・湖沼」では「保全している」農業集落の割合が県平均を超えているのは

12 市町である。④「河川・水路」では「保全している」農業集落の割合で県平均を上回っているのは 14 市町、さらに⑤「農業用排水路」では「保全している」農業集落の割合で 15 市町村が県平均を超えている。

以上が本研究にかかわるまとめである。本県において収益性の高い園芸農業地域（果樹、野菜、花き）と中山間農業地域における集落事情について、クロス集計など集落レベルのより詳細でかつ具体的なデータの整理・分析・検討を行うことが必要となろう。加えて、それぞれの地域的特性を踏まえて代表的な集落を必要に応じて選定し、現地ヒアリング調査による実態調査とその分析も重要となろう。いずれにしてもそれらのことを通じて、地域資源の保全や農業集落の持続的な存続・発展をはかる観点からの実践的な取り組みのあり方、また「地方創生」（集落再生・地域活性化）の一環としての政策支援・施策支援のあり方を提示することが残された今後の研究課題となろう。

注

- 1) 調査は 5 年ごとの全数調査で、「農山村地域の集落の再生・活性化に資するため、農業集落内でのコミュニティ活動状況や、農山村資源の保全状況を把握する」ことを目的としている。主な調査項目は、①農業集落の立地条件、②農業集落の戸数、③農業集落の耕地等、④地域資源の保全、⑤農業集落の活動状況などである。
- 2) 和歌山県農業の展開過程については、大西敏夫・辻和良・橋本卓爾編著『園芸産地の展開と再編』農林統計協会、2001 年、参照。また、和歌山県農業の最近の特徴については、大西敏夫「和歌山農業のこと、食農総合研究所のこと」『21 世紀 WAKAYAMA』Vol.83（一般財団法人 和歌山社会経済研究所発行）、2016 年、pp.5-8、参照。
- 3) 和歌山県農林水産部『和歌山県の農林水産業 平成 28 年 4 月』2016 年、参照。
- 4) 単一経営とは農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が 8 割以上の経営体をいう。準単一複合経営とは農産物販売金額のうち、主位部門の販売金額が 6 割以上 8 割未満の経営をいう。
- 5) 農林統計協会『2005 改訂 農業統計用語事典』2005 年、p.435、参照。
- 6) 中山間地域直接支払制度とは、中山間地域（農業集落）における農業生産活動を支援し、農村がもつ国土保全や水資源の涵養等の多面的機能を維持・確保するため 2000 年度から一定の交付条件を満たす農業者に対し直接支払いする制度である。ちなみに、和歌山県（2014 年度現在）の実施状況は、取組市町村が 23 市町村（制度対象市町村 28 市町村）、交付金交付対象面積が 1 万 1,560ha（田 1,165ha、畑 1 万 395ha）、協定数が 654（集落協定：650、個別協定：4）、協定参加農家数が 1 万 6,128 人である。

和歌山県における農業集落の現況と地域的特徴
—2010年センサス「農業集落調査」結果分析を中心に—

平成29年 7 月31日発行

和歌山大学経済学部教授
著 作 者 大西 敏夫

発 行 者 和歌山大学経済研究所
〒640-8510 和歌山市栄谷930
T E L : 073-457-7633
F A X : 073-457-7630
E-Mail : keiken@eco.wakayama-u.ac.jp
